

サポート研では 2004 年度および 2005 年度に、日本損害保険協会より研究費の助成を受け、これまで「制度の谷間」と言われてきた高次脳機能障害のある人およびその家族にとって必要な支援とは何かを研究してきました（1 年目は高次脳機能障害のある人のご家族に対するインタビュー調査、2 年目はオーストラリア・クイーンズランド州の実践研究を中心とした研究活動を行いました）。本研究報告会にてこれまでの研究成果を皆様にご報告したいと存じます。なお、現在 2006 年度の研究も継続中です。研究成果がまとまり次第、随時ご報告申し上げたいと存じます。

サポート研公開セミナー

脳損傷者の地域生活支援の可能性

オーストラリア・クイーンズランド州の実践から学ぶ

日時：2007 年 3 月 10 日（土） 13:00～16:00

場所：関東学院大学 関内メディアセンター

横浜市中区太田町 2-23 横浜メディア・ビジネスセンター（YMBC）8F

（みなとみらい線日本大通り駅 1 番出口より徒歩 5 分）

【プログラム】

13:00	13:20	日本の脳損傷者支援施策の変遷	田辺和子
13:20	13:40	日本における脳損傷者支援の現状	荒木大輔
13:40	14:20	オーストラリア・クイーンズランド州における 脳損傷者地域リハビリテーションシステム	麦倉泰子
14:30	15:00	民間 NPO 組織の戦略的アプローチ	酒本知美
15:00	15:30	C R S オーストラリアの公的就労支援の取り組み	西村明子
15:30	15:45	質疑応答	
15:45	16:00	まとめ	赤塚光子

会場地図

